

## 令和6年7月25日からの大雨による被害状況等について（第9報）

※ 7/25 0:00以降の大雨に起因する被害等を対象  
※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

### 1 気象状況（7/29 10:00 時点）

- 梅雨前線が日本海から北日本にのびており、前線上の低気圧が29日から30日にかけて北日本を通過する。前線や前線上の低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んでいるため、北日本と北陸地方は大気の状態が不安定となっている。29日から30日は前線上の日本海に低気圧が発生し、北日本を通過する。前線は、これから30日にかけて活動が活発となり、東北地方をゆっくりと南下し、30日夜には本州付近で不明瞭となる。
- 7月25日からの大雨で、山形県では25日の昼過ぎと夜に線状降水帯が発生して大雨特別警報を2度発表した。また、東北地方を中心に、24日から26日にかけての3日間で平年の7月の月降水量を超え、記録的な大雨となった所があった。
- 低気圧の通過や梅雨前線の南下に伴い、前線に近い東北地方の日本海側を中心に、北日本と北陸地方では、30日にかけて雷を伴い大雨となる所がある。
- 東北地方の日本海側では、これまでの記録的な大雨により、大雨災害発生の危険度が高まりやすくなっている所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。落雷や突風に注意。

### 2 体制等

- 非常体制：本省、東北地整、気象庁、国総研
- 警戒体制：国土地理院、東北運輸局
- 注意体制：北海道開発局、関東運輸局、北陸信越運輸局

### 3 被害情報等

#### (1) 河川（7/29 13:00 時点）

##### ■被害の状況

- ・国管理河川：2水系4河川で氾濫を確認（概ね浸水解消）

##### 子吉川水系子吉川

11箇所（秋田県由利本荘市）で氾濫、うち1箇所で堤防決壊（25日16時40分頃）。

堤防決壊箇所の緊急応急復旧工事を実施中。

水防活動等のための基準水位を引き下げて運用中。

##### 子吉川水系石沢川

1箇所（秋田県由利本荘市）で氾濫、堤防決壊（25日2時10分頃）。堤防決壊箇所の緊急応急復旧工事を実施中。

水防活動等のための基準水位を引き下げて運用中。

#### 最上川水系最上川

2 箇所（山形県新庄市、戸沢村）で氾濫、うち 1 箇所です堤防欠損  
堤防欠損箇所の緊急応急復旧工事を実施中。

排水機場 3 箇所（山形県酒田市、戸沢村）でポンプ設備の故障が発生  
（背後地の浸水解消済み）。施設復旧までの代替として、排水ポンプ車  
を配備済み。

#### 最上川水系鮭川

1 箇所（山形県戸沢村）で氾濫。

・ 県管理河川：10 水系 31 河川で氾濫を確認（概ね浸水解消）

岩手県：1 水系 1 河川

宮城県：2 水系 2 河川

秋田県：4 水系 7 河川

山形県：4 水系 21 河川

このうち秋田県管理の子吉川水系石沢川で 5 箇所、米代川水系五反沢川で  
1 箇所、山形県管理の最上川水系新田川で 4 箇所、同水系野尻川で 1 箇所  
の堤防決壊が発生。1 箇所（子石川水系石沢川）で緊急応急復旧工事に着  
手済み。その他の河川も準備が整ったところから順次着手。

#### (2) ダム（7/29 12:00 時点）

・ 洪水調節（事前放流を含む）を実施 61 ダム

61 ダムうち、事前放流の基準に達したダム 32 ダム

・ 事前放流を実施 3 ダム（うち利水ダム 1 ダム）

・ すでに事前放流の容量を確保 29 ダム（うち利水ダム 24 ダム）

※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

○特別防災操作（通常の洪水調節よりも大幅に流量を抑制する操作）を  
実施 1 ダム

寒河江ダム（国管理 最上川水系寒河江川）、現在は終了。

○緊急放流（非常用洪水吐きからの越流）を実施 1 ダム

田沢川ダム（山形県管理 最上川水系田沢川）、現在は終了。これまでに下  
流河川の被害報告はなし。

○最上川水系の直轄 2 ダム（白川ダム、寒河江ダム）で、今後の降雨に 備え  
て利水容量から合計約 240 万 m<sup>3</sup> を追加的に確保。そのほか、県管理ダム 5  
ダム、利水ダム 3 ダムを含め、流域全体で約 950 万 m<sup>3</sup> の空き容量を確保済  
み。

### (3) 砂防

- 土砂災害警戒情報（7/29 12:00 時点）※全て解除済み  
7 県 43 市町村に発表（岩手県、宮城県、秋田県、山形県、埼玉県、新潟県、鳥取県、）
- 土砂災害（7/29 13:00 時点）  
21 件（岩手県 2、秋田県 2、山形県 16、滋賀県 1）  
人的被害 負傷者 1 名（山形県(舟形町)1）  
人家被害 一部損壊 1 戸（山形県 1）※  
※なお山形県、滋賀県は人家被害を確認中

### (4) 道路（7/29 12:00 時点）

#### ○高速道路

被災による通行止め：1 路線 2 区間

E7 日東道 仁賀保 IC【1 区間】：土砂流入

E7 日東道 遊佐菅里 IC～遊佐鳥海 IC【1 区間】：土砂崩落

雨量基準超過等による通行止め：なし

#### ○有料道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

#### ○直轄国道

被災による通行止め：2 路線 5 区間

国道 13 号（山形県舟形町）：土砂流入

国道 13 号（山形県金山町）：路面クラック

国道 47 号（山形県戸沢村）：河川氾濫・路面崩壊

国道 47 号（山形県最上町～山形県舟形町）：土砂流入

国道 47 号（山形県新庄市～戸沢村）：河川氾濫・路面崩壊

雨量基準超過等による通行止め：なし

#### ○補助国道

被災による通行止め：4 路線 5 区間

国道 105 号（秋田県北秋田市）：土砂崩れ

国道 107 号（秋田県横手市～由利本荘市）：土砂流入

国道 398 号（秋田県由利本荘市～羽後町）：土砂流入

国道 344 号（山形県真室川町）：土砂流入

国道 344 号（山形県酒田市）：土砂流出

#### ○都道府県道

被災による通行止め：4 県 42 区間

秋田県 11 区間

山形県 28 区間

滋賀県 2 区間

高知県 1 区間

※山形県鮭川村において、一部地区に通じる道路が通行できなくなっているとの報道あり（県の発表では、孤立集落として取扱われていない）

#### (5) 鉄道（7/29 11:30 時点）

- ・ JR東日本：山形新幹線（奥羽線 山形駅～新庄駅間）  
新幹線車両が乗り入れる奥羽線の舟形駅～芦沢駅間で土砂流出等（詳細確認中）
- ・ JR東日本：奥羽線（新庄駅～院内駅間）  
新庄駅～釜淵駅間で土砂流出等（詳細確認中）
- ・ JR東日本：大船渡線  
一ノ関駅～真滝駅間で土砂流出（詳細確認中）
- ・ JR東日本：陸羽東線  
最上駅～大堀駅間で路盤流出（詳細確認中）  
瀬見温泉駅～東長沢駅間で土砂流入（詳細確認中）
- ・ 秋田内陸縦貫鉄道：秋田内陸線  
阿仁合駅～荒瀬駅間で土砂流入等（詳細確認中）

#### ○運行状況、復旧見込み及び代行輸送に関する情報

##### <新幹線>

- ・ 運転を見合わせている路線：1 事業者 1 路線  
JR東日本：山形新幹線（山形駅～新庄駅）
- ・ 復旧見込み：8 月中旬頃
- ・ 代行輸送：山形駅～村山駅間は在来線で対応。村山駅～新庄駅間は、沿線道路の安全性等を確認中であるため、実施していない。  
なお、現在利用者は少なく、各駅は落ち着いている。

##### <在来線>

- ・ 運転を見合わせている路線：2 事業者 4 路線  
JR東日本：奥羽線（村山駅～院内駅）、  
大船渡線（一ノ関駅～気仙沼駅）、  
陸羽東線（鳴子温泉駅～新庄駅）  
秋田内陸縦貫鉄道：秋田内陸線（鷹巣駅～角館駅）
- ・ 復旧見込み：奥羽線（村山駅～新庄駅間）の復旧見込みは8月中旬頃。  
その他の路線・区間の復旧の見通しは検討中。  
現在、土砂流出等の現地調査中で復旧方法を各鉄道事業者にて検討中。
- ・ 代行輸送：沿線道路の安全性等を確認中であるため、実施していない。

なお、関係各駅は落ち着いている。

(6) 航空 (7/29 10:00 時点)

【7月29日】欠航予定便：現在のところなし

【7月30日】欠航予定便：現在のところなし

(7) 物流・自動車 (7/29 10:30 時点)

○高速バスの状況：運休無し

○路線バスの運休状況

秋田県1事業者 1路線運休、1路線一部運休

○乗合バス事業者の状況

1事業者の営業所において、河川氾濫により約160cmの浸水被害

・営業所内の電気系統、PC等の備品の大半や書類も水没

・車両浸水の被害状況については、現在確認中

・営業できない状況であり、現在予約のキャンセル又は他社へ依頼

○タクシーの状況

2事業者のタクシー車両3台が浸水被害

1事業者の営業所1階事務室が床上浸水。(復旧見込み未定)

○宅配便の状況

4事業者で一部地域の集配遅延等

(8) 海事 (7/29 11:00 時点)

○定期旅客船の運休状況：3事業者3航路運休

(9) 上水道 (7/29 13:00 時点)

【水道の被害状況】

・秋田県、山形県内の8事業者において1,543戸が断水中。

・引き続き情報収集に努める。

県・市町村 ・事業者名	断水戸数 (戸)		断水 期間	被害等の状況
	最大	現在		
【秋田県】  横手市	20	3	7/25~	・土砂崩れによる水道管破損 ・応急給水実施中
由利本荘市	64	11	7/24~	・土砂崩れによる水道管破損 ・応急給水実施中

にかほ市	3	1	7/24～	・河川増水による添架管破損 ・応急給水実施中
上小阿仁村	126	126	7/26～	・河川氾濫による水道管破損 ・応急給水実施中
【山形県】 酒田市	1,078	263	7/25～	・河川増水による水管橋破損 ・応急給水実施中
真室川町	380	5	7/25～	・水源地ポンプ設備冠水及び土砂崩れによる水道管破損 ・応急給水実施中
鮭川村	1,132	1,132	7/26～	・河川氾濫、土砂崩れによる水道管破損 ・応急給水実施中
戸沢村	2	2	7/26～	・地すべりによる水道管破損 ・事業所であり応急給水は不要である旨を確認
合計※	2,805	1,543		

※：各市町村等の断水戸数の合計

(10) 公園・都市 (7/29 13:00 時点)

○都市公園

- ・にかほ 仁賀保墓園 (秋田県にかほ市) : 法面小崩落 立入禁止措置済
- ・八幡公園 (山形県新庄市) : 土砂流出 対応状況確認中
- ・下川原公園 (山形県大石田町) : 一部冠水 使用禁止措置済
- ・最上川寒河江緑地 (山形県寒河江市) : 土砂堆積 使用禁止措置済

※いずれも人的被害なし

○国営公園 異常なし

○その他公園

- ・新田川河川公園 (山形県新庄市) : 土砂堆積 対応状況確認中

※人的被害なし

(11) 下水道 (7/29 13:00 時点)

- 秋田県上小阿仁村：マンホールポンプ1基が浸水により異常確認  
(復旧済)
- 山形県酒田市：処理場2箇所が機能停止  
八幡浄化センター 浸水により水処理機能停止 (機能確保済)  
松山浄化センター 浸水により水処理機能停止 (機能確保済)
- 山形県戸沢村：処理場1箇所が機能停止  
古口浄化センター 浸水により水処理機能停止 (詳細調査中)

(12) 公営住宅 (7/29 13:00 時点)

- 5団地で床上、床下浸水 (山形県)

(13) 観光 (7/29 11:30 時点)

- 観光施設1件で駐車場陥没等 (山形県最上町)
- 宿泊施設2件で浸水等 (山形県最上郡戸沢村1件、最上町1件)

(14) その他・・・(海岸、港湾) 関係の状況

- 被害情報なし

#### 4 国土交通省の対応

(1) 大臣指示 (7/26 00:58)

(2) 国土交通省災害対策連絡調整会議 (7/25、7/26)

(3) 記者会見等

- 合同記者会見 (気象庁、水管理・国土保全局 7/25 14:00、19:40、  
7/26 00:45、05:20  
仙台管区气象台、東北地方整備局 7/25 14:10)

(4) ホットライン構築状況

14市12町4村と構築済み

(秋田県7市3町2村、山形県4市9町2村、新潟県2市、滋賀県1市)

(5) TEC-FORCE 等 【117名】 (のべ203人・日)

- リエゾン：6名派遣 (山形県庁2名、酒田市2名、戸沢村2名)
- JETT：12名派遣 (酒田市3名、鶴岡市3名、鮭川村3名、戸沢村2名)
- 被災状況調査班等：99名派遣

◇先遣調査班

東北・関東・中部地整が山形県内 (山形県庁、新庄市、酒田市、最上町、舟形町、庄内町、戸沢村) で活動中

◇被災状況調査班 [河川・道路・河川砂防・ドローン]

東北・関東・中部地整が山形県内 (三川町、鮭川村、新庄市) で活動中

◇応急対策班〔河川復旧〕

東北地整が山形県内(新庄市)で活動中

○防災ヘリコプターによる被災状況調査

- ・東北地方整備局みちのく号による秋田県及び山形県の広域被災状況調査〔7月26日〕
- ・東北地方整備局みちのく号による山形県の広域被災状況調査〔7月27日〕

○Car-SATによる被災状況調査

- ・秋田県由利本荘市の被災状況調査(子吉川)〔7月25日〕

○ドローンによる被災状況調査

- ・秋田県由利本荘市の被災状況調査(子吉川)〔7月25日〕
- ・山形県酒田市、庄内町の被災状況調査(最上川)〔7月26日〕

(6)災害対策用機械の出動【本日46台派遣】(のべ220台・日)

○排水ポンプ車

- ・27台を秋田県(由利本荘市)、山形県(大蔵村、庄内町)に派遣

○照明車

- ・15台を秋田県(由利本荘市)、山形県(大蔵村、庄内町、舟形町)に派遣

○待機支援車

- ・1台を秋田県(由利本荘市)に派遣(7/25～)

○Ku-SAT

- ・2台を山形県(戸沢村)に派遣

○公共BB

- ・1台を秋田県(由利本荘市)に派遣

## 5 気象庁の対応

各地の气象台は、JETT(気象庁防災対応支援チーム)の派遣(のべ40人・日※TEG-FORCEの内数)やホットライン、記者会見等により警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を実施。

## 6 海上保安庁の対応

○当庁の対応状況

- ・巡視船艇、航空機の即応体制確保
- ・航行警報 0件
- ・海の安全情報発出 3件

[参考] 海の安全情報: 広く海域利用者に対し、気象・海象の現況、気象警報・注意報の発表、台風や発達した低気圧に伴う事故防止の注意喚起等の情報を提供(テレホンサービス、インターネット、メール)

○主な被害状況等



現在まで海上における被害情報等認めず。

○その他参考事項

当庁施設の被害なし。

**7 国土地理院の対応**

○浸水推定図（最上川水系最上川）を作成し、関係機関に提供するとともにHPで公開（7/26）

○被災状況調査の空中写真撮影のため、測量用航空機を調布飛行場に待機

**8 国土技術政策総合研究所の対応**

○河川堤防の専門職員を現地へ派遣（7/28:国総研2名）

以上

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 箭内 代 表：03-5253-8111 内線35-822 直 通：03-5253-8461
---